平成24年第1回

中札内村議会臨時会会議録

平成24年5月21日（月曜日）

◎出席議員（7名）

2番 佐藤耕平君	3番 知本正幸君
4番 笠松直君	5番 黒田和弘君
6番 男澤秋子君	7番 北嶋信昭君
8番 高橋和雄君	

◎欠席議員（1名）

1番 中井康雄君

◎地方自治法第121条の規定による説明のための出席者

中札内村長 田村光義君

◎中札内村長の委任を受けて説明のため出席した者

副村長 火山敏光君	総務課長 高桑浩君
住民課長 山崎恵司君	福祉課長 岡田好之君
産業課長 阿部雅行君	施設課長 長澤則明君
住民課長補佐 渡部浩樹君	

◎職務のため出席した議会事務局職員

議会事務局長 片山勇一郎君 書記 深田三恵君

◎議事日程

日 程 第 1		会議録署名議員の指名
日 程 第 2		会期の決定
日 程 第 3		行政執行状況報告
日 程 第 4	議案第29号	中札内村税条例の一部を改正する条例の制定について
日 程 第 5	議案第30号	中札内村国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について
日 程 第 6	議案第31号	工事請負契約の締結について
日 程 第 7	議案第32号	平成24年度中札内村一般会計補正予算について

◎開会宣告

○議長（高橋和雄君） ただ今の出席議員数は7人です。

定足数に達しておりますので、ただいまから平成24年第1回中札内村議会臨時会を開会いたします。

ただちに、本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、あらかじめお手もとに配布をしたとおりです。

◎ 日程第1 会議録署名議員の指名

○議長（高橋和雄君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第120条の規定によって、3番知本議員と4番笠松議員を指名いたします。

◎ 日程第2 会期の決定

○議長（高橋和雄君） 日程第2、会期の決定を議題にします。

お諮りをいたします。

この臨時会の会期は、本日1日にしたいと思います。

このことに異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（高橋和雄君） 異議なしと認めます。

したがって、会期は本日1日に決定をいたしました。

◎ 日程第3 行政執行状況報告

○議長（高橋和雄君） 日程第3、行政執行状況報告について、村長から申し出がありますので、これを許します。

田村村長。

（田村光義村長登壇）

○村長（田村光義君） 臨時議会でございますが、ご了承を頂きましたので、中札内保育所で発生したノロウイルスによる集団感染について、ご報告させていただきます。

4月25日夕方から26日朝にかけて、おう吐、下痢、腹痛、発熱の症状を訴えるものが児童、職員に多発したことから、26日午前10時頃帯広保健所に報告し、午後2時より保健所の調査を受けました。

調査としては、発症の経過や施設の状況確認、給食などの調理状況などの聞き取りを行うほか、発症者への聞き取りと検便の協力依頼を行いました。

その間、保育所において、塩素系の薬液による施設及び遊具等の消毒を行い、感染拡大を防ぐ作業を実施するとともに、保護者に対して状況を説明し、5月1日、2日を給食中止といたしました。

便の検査結果については、4月29日に児童・職員からノロウイルスが検出されましたが、給食調理員からは検出されなかったこと、5月1日には保存していた給食サンプルの検査結果から、食中毒ではないとの報告があり、これらのことからノロウイルスによる集団感染と判明しました。

最終的に、入院などの重症者は発生しておりませんが、児童50人、職員10人が発症、内30人が医療機関を受診しております。

その後、連休明けの5月7日には、ノロウイルスによる児童及び職員の欠席者はゼロとなり、終息したと判断いたしました。

今回の集団感染の原因は、児童のおう吐物や便の処理に関する管理マニュアルに沿って殺菌処理を行っておりますが、感染の拡大を十分に防止するには至らなかったものと考えており、今後は今回のケースを踏まえ、管理マニュアルを見直し、衛生管理の強化を図り、再発防止に努めて参ります。

次に、今月4日から6日にかけての大雨の影響について、ご報告申し上げます。

農業関連では、約20ヘクタールの畑で冠水や表土・苗の流出が起き、降水量が多かったことから、冠水した馬鈴しょの圃場では一部蒔き直しが見られております。

また、畑の水引きが遅く、馬鈴しょの播種やてん菜の移植作業が遅れ、5月15日現在の進捗は、馬鈴しょで12日遅れの約80パーセントの播種、てん菜で4日遅れの約75パーセントの移植状況であります。

このほか、小麦の生育、えだまめ、デントコーンの播種も遅れておりますので、今後の順調な天候を願い、生育の回復を期待しております。

また、5月6日の落雷により、コミュニティ広場の分電盤内部ブレーカーが破損し、コミュニティ広場37号から38号間の街灯が停電となっているほか、札内川園地内・給水塔の塩素ポンプにも被害が発生しており、現在、復旧準備を進めるとともに、復旧経費を補正予算に計上しております。

以上、執行状況報告とさせていただきます。

○議長（高橋和雄君） これで行政執行状況報告は終わりました。

◎ 日程第4 議案第29号 中札内村税条例の一部を改正する条例の制定について

◎ 日程第5 議案第30号 中札内村国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について

○議長（高橋和雄君） この際、日程第4、議案第29号中札内村税条例の一部を改正する条例の制定について、日程第5、議案第30号中札内村国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定についての2件を一括して議題にします。

提出者から提案理由の説明を求めます。

田村村長。

（田村光義村長登壇）

○村長（田村光義君） ただいま、一括上程議題に供されました提案の趣旨についてご説明申し上げます。

本案件は、「地方税法の一部を改正する法律」及び「地方税法及び国有資産等所在市町村交付金法の一部を改正する法律」の公布に伴い、村税条例並びに国民健康保険税条例の一部を改正しようとするものであります。

詳細については、担当課長より説明申し上げますので、よろしくご審議、ご決定くださいますようお願い申し上げます、説明を終わります。

○議長（高橋和雄君） 補足説明を山崎住民課長。

○住民課長（山崎恵司君） それでは補足して説明をさせていただきます。

黒ナンバー4番、議案関係資料1ページをお開きください。

最初に村税条例の一部を改正する条例の改正概要について説明をさせていただきます。

今回の改正は、地方税法の一部改正、及び地方税法及び国有資産等所在市町村交付金法の一部を改正する法律の公布に伴い、改正しようとするものであります。

まず、1点目の年金所得者の申告手続きの簡素化です。

これは平成23年度の税制改正の所得税において、年金所得者にかかる源泉徴収税額の計算において、控除対象とされている人的控除の範囲に寡婦（寡夫）控除が加えられたことにより、年金所得者の申告手続きの簡素化の観点から住民税における申告書の提出が不要となったことによる改正であります。

この改正につきましては、平成26年度分以後の個人住民税からの適用となります。

次に2点目の土地に対して課する固定資産税の特例の延長です。

資料の①宅地等に対して課する固定資産税の特例の延長では、商業地については現行の制度を3年間延長することとしております。

住宅用地については、24年度及び25年度について、負担水準を10パーセント引き上げた上で、この特例を継続し、26年度に廃止をしようとするものであります。

②の農地に対して課する固定資産税の特例については、現行の制度を3年間延長することとしております。

次に3点目の土地の価格の特例適用の延長ですが、これは評価替えによる土地の価格の決定後、地価が下落し、固定資産税の課税上著しく均衡を失する場合の特例について規程しておりますが、本制度についても25年度分、26年度分の固定資産税に限り延長することとしております。

次に4点目の固定資産税の非課税措置の追加ですが、特定民法法人から移行した一般社団法人または、一般財団法人が平成20年12月1日以前から設置している図書館、博物館、幼稚園に係る固定資産税について、非課税とする措置が追加された事に伴う改正であります。

次に5点目の東日本大震災に係る被災者支援策の延長ですが、これは大震災により被災された方が、居住することができなくなった家屋と共にその敷地を譲渡した場合における譲渡所得の特例措置を平成25年度以降についても適用することとする改正であります。

その他の条項の改正につきましては、法律の改正に伴う字句の改正及び読み替え等によるものであります。

次に施行日についてですが、本条例は公布の日から施行し、適用は4月1日からとしておりますが、年金所得者の申告手続きの簡素化に係る部分につきましては、26年1月1日を施行日としております。

次に3ページから13ページについては、新旧対照表を添付させていただいておりますので、参考にご覧いただきたいと思います。

次に国民健康保険税条例の一部改正です。

資料の14ページをお開きください。

今回の改正は、国民健康保険税の所得割額の算定において所有していた家屋を東日本大

震災において滅失した方が、当該家屋の敷地を譲渡した場合の長期譲渡所得の課税の特例となる譲渡期限を延長しようとするものであります。

なお、施行期日についてですが、本条例は公布の日から施行し、適用は4月1日からとしております。

以上で補足説明を終わらせていただきます。

○議長（高橋和雄君） これで提案理由の説明を終わります。

これから2件を一括して質疑を行います。

質疑はございませんか。

2番、佐藤議員。

○2番（佐藤耕平君） 先日、前もって山崎課長の方にはいくつかお伺いしたいんですけども、改めて確認の上で質疑したいと思います。

固定資産税の住宅用地のところに係わってなんですけども、負担水準が今回8割から9割に引き上げられるという事で、今回の引き上げ幅で見ると、対象となる村民はそんなに無いに等しいということだったと思うんですけどもその確認と、村の地価も近年は下がっているとのことだったんですけども、その辺について再度、改めて確認をしたいと思います。

○議長（高橋和雄君） 山崎住民課長。

○住民課長（山崎恵司君） まず、今回の改正の中で、固定資産税に係る特例で、住宅用地に係る部分の改正がございます。先ほどの補足説明でも説明させていただきましたとおり、負担水準を8割から9割への引き上げ、最終的には26年度については、住宅用地に係る特例措置については、廃止をするというのが法律の改正の趣旨であります。

もともと負担水準というのは、激変緩和措置であります。

地価価格が各市町村によってかなりバラバラな時期がありまして、それをある程度調整するために平成6年度に制度の改正が行われています。ですが、その地価の見直しを行ったときに一気に課税標準額が上がるのを抑えるために徐々にその激変緩和で評価額を引き上げを行っていくというのがこの負担水準であります。

これはこれまでも引き上げられてはきたんですけども、今回8割から9割に引き上げられたということでございます。

それが負担水準なんですけども、対象となる土地に関する固定資産税の額、相当額でいけば、概算で計算をしたところ、全体で約40万円から50万円程度の実際の額の引き上げになっていくということございまして、土地に関する固定資産税の決算額が約2,700万円ほどありますので、その額からするとその引き上げに係る引き上げ額というのはそれほど大きなものではないと。なぜ、そうなのかということになりますと、もともと負担水準は、本村の場合80パーセント以下の土地が大半でございますので、そのことによって今回の80パーセントから90パーセントに負担水準の引き上げに係る土地の数がそれほど多くないと。そのことの影響が小さかったということになります。

2点目の地価についてですが、これは24年度から評価替えの年という事で23年度中その事務を進めて参りました。

個別の土地について、具体的にここで資料をお示し出来るわけではないんですが、総体として、地価は増加傾向ではなく、下落気味と。それは大きく下落しているのかというと、それほど大きな下落ではないというふうに総体としては判断をしているところでございます。

○議長（高橋和雄君） そのほか質疑はありませんか。
（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（高橋和雄君） よろしいですか。
はい、ないようですのでこれで質疑を終わります。
まず最初に、議案第29号に対する討論を行います。
討論はございませんか。
2番、佐藤議員。

○2番（佐藤耕平君） それでは、今回の税条例、議案第29号の税条例に係りまして、反対の立場で討論させていただきたいと思えます。

今回の固定資産税の住宅用地の部分ですね。そこには村民への今回の引き上げ分に関してはそんなに影響がないという答弁を今いただきましたけども、いずれ大きな影響が出てくる事も今後想定されると思えます。

今、答弁でもいただいたとおりこの改正は何年かかけて断続的に行われてきていますが、そこには、景気の、不景気、好景気の動向というのは全くと言っていいほど加味されていないように私自身思えます。

結果、地価が下がっても負担は増えるという矛盾が起きる事もあると想定されます。

今回の見直しで、今後対象となる中で、とりわけ高齢者に至っては、近年年金支給額が減っていたり、医療費も負担増がこれからも行われようとしていますし、生活は大変厳しくなっていると思えます。このような中で村民への負担増となるようなことは行うべきではないという事で反対の立場を取らせていただきます。

○議長（高橋和雄君） はい、反対の討論だったと思えます。
賛成の討論の方ございませんか。

3番、知本議員。

○3番（知本正幸君） 今回の税条例の一部改正については、地方税法の一部改正ということ。あるいは東日本の大震災に伴う被災者の対策という面もありますので、本村についても国の法律に準じて改正していく必要があるのではないかとこのように思えますので賛成の討論としたいと思います。

○議長（高橋和雄君） そのほか討論ございませんか。
（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（高橋和雄君） これで、討論を終わります。
議案第29号、中札内村税条例の一部を改正する条例の制定についてを起立により採決いたします。

この議案は、原案のとおり決定することに賛成の方の起立を求めます。
（賛成者起立）

○議長（高橋和雄君） 賛成多数です。
したがって、議案第29号は原案のとおり可決されました。
議案第30号に対する討論を行います。
議案第30号に対する討論はございませんか。
（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（高橋和雄君） 討論なしと認めます。
これで討論を終わります。
議案第30号、中札内村国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定についてを採

決します。

この議案は、原案のとおり決定することに異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(高橋和雄君) 異議なしと認めます。

したがって、議案第30号は原案のとおり可決されました。

◎ 日程第6 議案第31号 工事請負契約の締結について

○議長(高橋和雄君) 日程第6、議案第31号工事請負契約の締結についてを議題にします。

提出者から提案理由の説明を求めます。

田村村長。

(田村光義村長登壇)

○村長(田村光義君) ただいま、上程議題に供されました、工事請負契約の提案の趣旨についてご説明申し上げます。

本案件は、農業体質強化基盤整備促進事業中札内地区暗渠排水工事を、平成24年12月20日までの工期で整備しようとするものであり、5月15日に5社による指名競争入札を行った結果、9,187万5,000円で永井工業株式会社が落札しましたので、工事請負契約を締結しようとするものであります。

詳細については、担当課長より説明申し上げますので、よろしくご審議ご決定くださいますようお願い申し上げます、説明を終わります。

○議長(高橋和雄君) 補足説明、高桑総務課長。

○総務課長(高桑浩君) 黒ナンバー4番、議案関係資料の15ページをお開き願います。

工事請負契約の締結について記載しておりますが、農業体質強化基盤整備促進事業中札内地区暗渠排水工事は暗渠排水工事61.6ヘクタールを実施するもので、5社による指名競争入札を行いました。

1回目の入札では、予定価格を下回らなかったため、再入札を行った結果、落札業者は永井工業株式会社で、予定価格9,239万5,800円に對しまして、9,187万5,000円、落札率は99.4パーセントでございます。

なお、2番札は、9,219万円。

3番札は9,229万5,000円でありました。

16ページから17ページには工事の位置及び断面を示した図面を添付しておりますのでご覧いただきたいと思ひます。

以上で補足説明を終わります。

○議長(高橋和雄君) これで提案理由の説明は終わります。

議案第31号に対する質疑を行います。

質疑はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(高橋和雄君) これで質疑を終わります。

議案第31号に対する討論を行います。

討論はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長（高橋和雄君） 討論なしと認めます。

これで討論を終わります。

議案第31号工事請負契約の締結についてを採決します。

この議案は、原案のとおり決定することに異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（高橋和雄君） 異議なしと認めます。

したがって、議案31号は原案のとおり可決されました。

◎ 日程第7 議案第32号 平成24年度中札内村一般会計補正予算について

○議長（高橋和雄君） 次に日程第7、議案第32号、平成24年度中札内村一般会計補正予算についてを議題にします。

提出者からの提案理由の説明を求めます。

田村村長。

（田村光義村長登壇）

○村長（田村光義君） ただいま、上程議題に供されました、一般会計補正予算の提案の趣旨についてご説明申し上げます。

既定の歳入・歳出予算の総額に、それぞれ50万8,000円を追加し、総額を35億8,300万8,000円に調整したものであります。

詳細については、担当課長より説明申し上げますので、よろしくご審議、ご決定くださいますようお願い申し上げます、説明を終わります。

○議長（高橋和雄君） 補足説明を高桑総務課長。

○総務課長（高桑浩君） それでは黒ナンバー3番、一般会計補正予算書により歳出から説明をさせていただきます。

7ページをお開きください。

1つ目の中札内保育所管理費の手数料9万円の追加ですが、ノロウイルスの集団感染が発生したことにより、布団、毛布等のクリーニング代を追加するものでございます。

次に札内川園地管理費の修繕料158,000円の追加は、給水塔の塩素ポンプの取替えで、その下段、公園管理費の修繕料26万円の追加はコミュニティ広場の分電盤を修繕するもので、いずれも5月6日の落雷により被害を受けたものでございます。分電盤の修繕については、特定財源としまして、建物災害共済金20万7,000円を追加しております。

次に6ページをご覧ください。

歳入ですが、歳出の一般財源として繰越金を30万1,000円追加し、調整するものでございます。

以上で補正予算の補足説明を終わります。

○議長（高橋和雄君） 提案理由の説明は終わりました。

議案第32号に対する質疑を行います。

質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（高橋和雄君） ありませんか。

質疑なしと認めます。
これで質疑を終わります。
議案第32号に対する討論を行います。
討論はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(高橋和雄君) 討論なしと認めます。
これで討論を終わります。
議案第32号、平成24年度中札内村一般会計補正予算についてを採決します。
この議案は原案のとおり決定することに異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(高橋和雄君) 異議なしと認めます。
したがって、議案第32号は原案のとおり可決されました。

◎ 閉会の宣告

○議長(高橋和雄君) これで本日の日程はすべて終了しました。
会議を閉じます。
平成24年第1回中札内村議会臨時会を閉会します。

閉会 午前10時27分